

# 希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成30年1月30日発行

第34号

編集発行 鈴木史良

## 日本の伝統文化を味わう

—— 盛り上がったかるた・百人一首大会、もちつき体験 ——

オープンドアの最終日となった1月26日(金)の3・4校時に、本校恒例の「かるた・百人一首大会」と「もちつき体験学習」を実施しました。赤組、白組にわかれた子どもたちはハチマキを締め、気合は十分。児童生徒会による開会式後、低学年による「かるた」をおこないました。使用される読み札の文言は、本校のオリジナル。スイスやウスターでの生活の様子が子どもたちの目線でそのままカルタに表現されています。

例 こ —— こんにちは スイス・ドイツ語 グリエッツィ  
も —— もう春だ ゼクセロイテン たのしいよ

個人戦と赤白対抗の団体戦も兼ねているため、白組も赤組も低学年を応援しました。「かるた」終了後は「百人一首」です。小学部中学年から中学部3年生までの子どもたちが、百首の和歌に挑戦。今年はこれまでの取り組みが充実し、例年以上に気合が入った戦いが繰り広げられました。

### <結果発表>

- ・団体の部 優勝 白組 準優勝 赤組
- ・個人の部 低学年「かるた」の部 優勝 中田梨紗さん  
中高学年「百人一首」の部 優勝 細井 展さん  
中学部 " 優勝 増田未空さん

### <生徒の感想>

「“ちはやぶる”の札が自分の前にある。」それまで覆われていたシートが取られた時、その札の下の句“からくれないに”が目に入りました。実際、4札目に読まれ、私は取ることに成功しました。百人一首の中でいちばん好きな歌なので、取ることができてうれしかったです。(中学部3年女子)

緊張した「かるた・百人一首大会」の後は、もちつき体験学習をおこないました。蒸される前、蒸された後のもち米を観察した後、臼の中に入れて全員が杵でこねました。十分こねられたもちは杵で突きました。このような作業を通じて、もち米の粒がいつの間にか消え、もちもちした状態を観察できました。子どもたちは餅粉の上で形を整え、お盆の上に並べました。きなこをまぶしたり、のりと醤油をつけたりして食べる出来立てのもちの味は最高です。大満足の子どもたちでした。



かるたを見つめる真剣なまなざし



子どもたち全員でこねたもち

## アクションプランの遂行

今年度第2回学校評価結果を受け、所期の目標を達成するために3学期は下記のようなアクションプランによる実践をスタートさせ、教育の質の向上をめざします。

- (1) 学校運営面「安全・安心な学校」  
月初めの安全点検を中旬にも実施し、危険個所を見逃さない。  
～月2回の安全点検を実施～
- (2) 学習活動面「基礎・基本の定着」  
自分の能力に合わせて自主的にそれぞれの級に挑戦する。  
～算数・数学 級別トレーニングの実施～
- (3) 生活指導面「言葉遣い指導の充実」  
挨拶 朝出会ったとき ⇨「おはようございます。」  
二度目、または昼初めて会ったとき ⇨「こんにちは。」  
返事 名前を呼ばれたとき ⇨「はい。」  
丁寧な言葉遣い 授業中 ⇨「～です。」「～ます。」  
～挨拶得点カードの実施～

## アナ・リシアルドさんの来校

2月12日（月）から3月9日（金）まで、職場体験としてアーガウ州バーデンに住む高校生、アナ・リシアルドさんが来校します。アナさんは日本語に興味をもち、1年間、愛知県の公立高校に留学した経験があります。そのため日本語がとても上手で、読み書きも驚くほどできます。授業の時には先生の助手として、授業以外の時には子どもたちのお世話や他の仕事のお手伝いをさせていただく予定です。本校の子どもたちや先生方との交流により、アナさんが多くのことを学べたら幸いです。

### 2月の主要予定

ホームページでの公開はしておりません。  
ご了承ください。